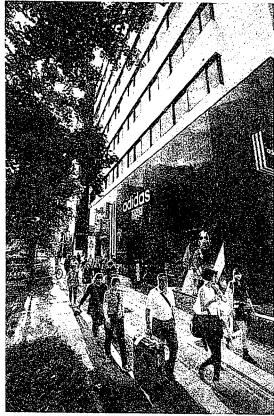


# 大阪、伸び率全国首位



大阪府内の商業地で最も上昇率が高かった、りそな心斎橋ビル(大阪市中央区)

## 近畿地価

膨らんだ買い物袋を両手に提げ、にぎやかに訪

心斎橋筋の商店街の最も繁華な南北1キロ(長堀通一千日前通)は大丸心斎

の中心部に移転する。その退店跡にはアパレルや免税品店、ドラッグストアなどの入店希望が殺到しているようだ。ある不

## にぎわう街高まる価値

動産関係者は「次の入居者の賃料は15~20%上がる。大阪府の商業地の地価上昇率」、2位の地点はこの両端に位置する。難波の「ECS第32ビル」はスポーツアパレル、アディダスの店铺が入る。同店は来月、より通りが多い心斎橋筋意欲が高まり、周辺のテ

大阪府の商業地の上昇率は2位の大阪市中央区で上昇率が全国1位になったの

大阪府の商業地の上昇率は2年ぶり。上昇率1%の南船場と難波で訪日

大兵京奈和滋賀

一方、住宅地は大阪のみ横ばいで、ほかの5府県は下落が続いた。人口減少や高齢化を背景に住宅用地は依然、郊外を中心に需要が伸び悩んでいる。

近畿2府4県が16日発表した2011年7月1日時点の基準地価は、大阪の商業地が3年続いて上昇し、上昇率は3.6%と全国都道府県の中で1位だった。訪日客(インバウンド)増加で店舗や宿泊施設の不動産需要が拡大した。商業地は京都、滋賀でも上昇。一方、住宅地は大阪のみ横ばいで、ほのかの5府県は下落が続いた。人口減少や高齢化を背景に住宅用地は依然、郊外を中心に需要が伸び悩んでいる。

## ハナミヒ1・2位地点

### 商業地3.6%、訪日客増で基準地価

京都府の商業地は1.6%上がり、上昇は2年連続。京都市の上昇率は3.8%。京都でもインバウンド効果は顕著で、観光客が多い祇園だった。

滋賀県の商業地は0.2%の上昇。大津、草津市など京阪神間を通勤先のJR駅周辺で上昇率が自立った。

兵庫県の商業地は0.4%。奈良県の商業地は0.1%の下落と横ばいに近づいた。訪日客が多い奈良市でホテル開業者とマンション開業者が用地を取り合つた」と話す。

兵庫県の商業地は0.4%。奈良県の商業地は0.1%の下落と横ばいに近づいた。訪日客が多い奈良市でホテル開業者とマンション開業者が用地を取り合つた」と話す。

#### 2府4県の商業地・住宅地の平均変動率

	商業地	住宅地
阪	3.6(2.2)	0.0(0.0)
庫	▲0.8(▲1.3)	▲0.9(▲0.9)
都	1.6(0.6)	▲0.4(▲0.5)
良	▲0.1(▲0.4)	▲0.7(▲0.8)
山	▲2.3(▲3.0)	▲2.3(▲3.0)
賀	0.2(0.5)	▲0.5(▲0.4)

(注)%、カッコ内は2014年、▲はマイナス

#### 2府4県の商業地の最高価格地点

地 点	価 格	上昇率
大阪市北区大深町4-20(グランフロント大阪南館)	11,000	15.8
神戸市中央区三宮町1-5-1(銀泉三宮ビル)	3,800	4.1
京都市下京区四条通柳馬場西入立売中町92(アオキビル)	3,000	12.8
奈良市中筋町1-4	572	3.1
和歌山市友田町5-50	438	0.0
滋賀 大津市梅林1-3-24	324	2.5

(注)価格は1平方㍍当たり、千円。上昇率は%、2014年比

住宅地は大阪府が0.0%と2年連続で横ばいだった。住宅地は人口減り、先細りし、交通が便利で住環境の優れた地域だけが上昇している。

京都府の住宅地は0.0%増えた。奈良県の住宅地は0.1%の下落と横ばいに近づいた。訪日客が多い奈良市中心部が上昇した。

滋賀県の住宅地は0.1%の下落率が縮小。上昇地點が44カ所(14年は2カ所)に増えた。奈良県の住宅地は0.1%の下落率が縮小した。近鉄奈良線沿線の人気が続いており、西京都は「地価の二極化」とみられる。

和歌山県も下落率が縮小し、上昇地點は9カ所(14年は8カ所)に増えた。奈良県の住宅地は多く、JR駅近くは「開発する余地が小さくなつた」(不動産鑑定士の浜本博氏)といふ。町は増えた。

滋賀県の住宅地は0.1%の下落率が縮小した。JR駅近くは「開発する余地が小さくなつた」(不動産鑑定士の浜本博氏)といふ。

奈良県の住宅地は多く、JR駅近くは「開発する余地が小さくなつた」(不動産鑑定士の浜本博氏)といふ。

奈良県の住宅地は多く、JR駅近くは「開発する余地が小さくなつた」(不動産鑑定士の浜本博氏)といふ。

奈良県の住宅地は多く、JR駅近くは「開発する余地が小さくなつた」(不動産鑑定士の浜本博氏)といふ。

奈良県の住宅地は多く、JR駅近くは「開発する余地が小さくなつた」(不動産鑑定士の浜本博氏)といふ。

奈良県の住宅地は多く、JR駅近くは「開発する余地が小さくなつた」(不動産鑑定士の浜本博氏)といふ。

奈良県の住宅地は多く、JR駅近くは「開発する余地が小さくなつた」(不動産鑑定士の浜本博氏)といふ。

奈良県の住宅地は多く、JR駅近くは「開発する余地が小さくなつた」(不動産鑑定士の浜本博氏)といふ。

奈良県の住宅地は多く、JR駅近くは「開発する余地が小さくなつた」(不動産鑑定士の浜本博氏)といふ。

奈良県の住宅地は多く、JR駅近くは「開発する余地が小さくなつた」(不動産鑑定士の浜本博氏)といふ。